

議会だより

第51号

令和2年3月1日発行



議 会 日 誌

令和元年10月～12月

- | | | | |
|-------|---|--------|--|
| 9月26日 | 紀南病院組合議会定例会（御浜町）
一部事務組合定例会（御浜町） | 11月16日 | 第7回ふじさき秋まつり（青森県藤崎町） |
| 10月2日 | 自治体議会議員研修（津市） | 18日 | 三重県後期高齢者医療広域連合定例会（津市） |
| 3日 | 熊野・南郡正副議長会 | 19日 | 東紀州広域ごみ処理施設整備に係る報告会 |
| 6日 | 下北山村 村政130周年記念式典（下北山村） | 22日 | 南牟婁郡交通安全対策協議会（御浜町） |
| 10日 | 熊野川改修促進期成同盟会要望活動（大阪市） | 23日 | 皇室特別奉迎（伊勢市） |
| 15日 | 国道168号（五條・新宮間）整備促進協議会総会（大阪市） | 24日 | 国道42号熊野道路起工式（熊野市） |
| 18日 | 紀宝町戦没者慰霊祭
暴力追放南牟婁郡町民会議 理事会・総会 | 27日 | 熊野・南郡正副議長会要望活動（東京都） |
| 20日 | 第13回紀宝みなとフェスティバル | 29日 | 年末の交通安全県民運動出発式 |
| 25日 | 教育民生常任委員会
議会運営委員会 | 12月3日 | 総務産業常任委員会
教育民生常任委員会
近畿自動車道紀勢線建設特別委員会 |
| 11月5日 | 三重県町村議会議長会 理事会及び行政視察（菰野町） | 4日 | 環境保全対策特別委員会 |
| 8日 | 三重県町村議会議長会 県議会に対する要請活動（津市）
熊野川河口に橋を架ける会要望活動（大阪市ほか） | 10日 | 総務産業常任委員会
議会運営委員会 |
| 13日 | 第63回町村議会議長全国大会（東京都）
熊野川河口に橋を架ける会要望活動（東京都ほか） | 17日 | 第4回定例会・第1日目 |
| 15日 | 紀宝町老人福祉大会 | 18日 | 第4回定例会・第2日目
議会議員定数及び報酬調査特別委員会 |
| | | 23日 | 紀南介護保険広域連合議会定例会 |

12月定例会 一般質問 (要約)

令和元年第4回紀宝町議会定例会は、12月17日に開会しました。
第1日目は、初めに、議長報告と各委員長報告、一部事務組合議会議員報告、広域連合議会議員報告を行い、続いて、町長から、第3回定例会以降の町行政各般にわたる報告がありました。その後、一般質問が行われ、第2日目の19日にわたり9人の議員が質問に立ち、諸課題について当局の取り組みと考え方を質しました。引き続き、議案審議に入り、条例の制定4件、条例の一部改正8件、令和元年度一般会計補正予算、特別会計補正予算(4会計)を原案どおり可決。続いて、意見書を可決し、閉会しました。



向井 健雅 議員

・新宮紀宝道路(近畿自動車道紀勢線)について
・保育所、小中学校の統廃合について

新宮紀宝道路

議員

この道路についてなんですが、改選前の議会において、議員間で促進の決議をしていたこともあり、私は今後も在籍中は質問する気持ちでおります。

新宮紀宝道路近畿自動車道紀勢線について、用地交渉の進捗及び工事の進捗についてお聞きします。

産業基盤整備担当理事

新宮紀宝道路の用地の進捗状況としましては、11月29日現在の契約状況で、全248筆中、242筆、

議員

97・5%で、面積といたしましては5万8025・03㎡中、5万6172・4㎡を取得しております。取得率で申しますと96・8%であります。県プロジェクトチームでは、今後も契約締結に向け、ご理解を頂くよう努力してまいりたいというふうに伺っているところであります。

また、工事の発注状況につきましては、新宮市域では、新宮紀宝道路新宮あけぼの地区改良工事、新宮紀宝道路熊野川河口大橋P1

からP3下部工事が完成し、現在、橋梁上部工事、橋台1基を施工中であります。また、紀宝町域につきましては、新宮紀宝道路紀宝ランプ橋下部工事が完成しており、紀宝町成川地区鶴子橋付近のインターチェンジ橋の橋台1基の工事が現在、施工中であります。また、新宮紀宝道路熊野川河口大橋P4からP6下部工事として、橋脚3基を施工中であります。

今後の工事発注予定としましては、新宮紀宝道路J

小中学校の統廃合

議員

小中学校の統廃合について、それぞれの現状と課題は。

健康福祉担当理事

保育所の園児数でございますが、少子化の影響もあり、出生数が減っております。こ

こ数年は、310名から320名の園児数で推移をしているのが現状です。

議員

そういう推移の中で、地域によって極端に減っているところが2地区ございます。それを含めたなかで、小中学校について答弁をお願いします。

教育長

町内小中学校の児童生徒数の状況でございますけれども、児童数は井田が119名、成川55名、神内60名、相野谷60名、鶴殿230名、合計524名となり、前年比2名増となっております。

中学校につきましては、相野谷16名、矢測232名、生徒数は248名となり、前年比17名の減となっております。

今後10年間を見通した見込みでございますけれども、緩やかな減少傾向にありますが、令和5年4月の町内5小学校児童数の合計が486名で、本年度と比較しますと38名の減となっております。中学校につきましては、合計244名で本年度比4名の減となっております。ま

た、合計から、本年度比としては小中合わせて42名の減となる予測を立てております。

本町における適正規模、適正配置等についての統廃合を含めた、将来的な展望についての考えでございますけれども、平成29年1月に町内の全区長様をはじめ、小中学校の保護者代表、学校長にお集まりいただきまして、各小中学校の今後10年間の児童生徒数の推移予想や、複式学級について、説明をさせていただく中で、

学校を取り巻く現状について理解をして頂くとともに、今後の在り方について意見交換を行っていた場を持ちました。また現在は、町内すべての各校區単位での学校運営協議会制度を導入しておりますことから、それぞれの地域や保護者、そして学校が一体となつて、共に知恵を出し合い協働する中で、子どもたちの豊かな成長を支えていただくとともに、地域の学校としての在り方について検討して

いただいております。

議員

やはり地域も絡めた問題にもなつてこようかと思いま

す。心配なことは、1学校で1競技団体を組めないこと、

それと複式については勉強の面ではどうかという、この2点がございます。それと初めて、全国レベル以上、教科によつては達したということ

で、こういう統廃合のこと言うのはちょっと言いにくい面もあるんですが、それ以上にレベルを上げていただきたいという思いの中で質問をさせていただきます。

それともう一つ、25年の第1次紀宝町総合計画で、地域の

実情に応じた統合・再編を慎重に検討していくということですが、29年の第2次紀宝町総合計画では、その言葉

が若干弱まったような内容になつておりますので、そこらへんの後退はしていません

とは思いますが、そのへんも頭に入れておいていただきたいと存じます。以前、町長も申されましたが、研究を重ねて行くというふうにおっしゃつて頂きましたので、今後その点について進めて頂きたいというふう

に思つております。



大倉 孝司 議員

・紀の宝みなど市について
・幼稚園と保育所の今後の在り方について

紀の宝みなど市

議員

紀の宝みなど市は、毎月第2土曜日に開催されていますが、最近お客様が激減しているように思われます。また、産業の復興を図るうえで大変良い取り組みと思えますが、このままではダメになるのではないかと危機感を持っています。

現在の状況と、今後の運営方法についてお伺いいたします。

R高架橋の橋脚1基の工事が入札公告中ということで、国土交通省のほうから発表されているという状況であります。

議員

工事のほうも、目に見えて着々と進んできており、県外である和歌山県のほうも、どんどん工事が進んでおります。

また、残りの用地の問題に関しても、今後も出来る限り努力をして頂きたいことを要望しておきます。

最後に、用地関係者の負担に対しては、応じてくれた方々に対して、深く感謝を申し上げます。

産業振興課長

紀の宝みなど市につきましては、紀宝バイパスの開通を集客の契機と捉え、当町の農林水産商工業者等による生産品やその加工品等を、生産者自らが直接販売する場を創設することにより、町への集客を図り、地域の活性化および地産地消を推進することを目的といたしまして、紀宝町商業活性化委員会に紀の宝みなど市実行委員会を立ち上げ、開催しております。

昨年の平均来場者数が359人に対し、本年は219人と減少しており、年々来場者数は減少傾向にあります。昨年の平均売上高が25万7100円に対し、本年は24万1262円となつており、売上高については、ほぼ横ばい状態にあります。来場者数の減少傾向に比べ、売上高の落ち込みが少ないこと等を考慮し、イベントや広報のありかたを検証し、集客に繋がるよう取り組んでまいりたいと考えております。

今後は出店者や来場者の意見を踏まえながら、紀の宝みなど市の目的であります地域の活性化、地産地消を更に推

進めるよう、取り組んでまいります。

議員

8月と12月には、釣り堀等のイベントがあることもあって、平日頃より多くの人が集まってくれますが、普段は減少傾向にあるということですが。もう少し子どもたちも集まるようなイベントを行ってもらうとか、またバスを利用してですね、町内各地から人が来ていただけるようにするとか、今後、企画を絶やすことなく続けられることを期待しております。

幼児教育

議員

町内5歳児の英語教育についてお伺いいたします。幼稚園では、ALTが英語教育を行っているとのことですが、保育所ではどのようにしているのでしょうか。

健康福祉担当理事

幼稚園につきましては、教育を受けさせる目的で、管轄が文部科学省の管轄になっており、保育所につきましては

は、家庭で育児ができない家庭に代わり、子供を預かることを目的とした児童福祉法に基づき、厚生労働省が管轄する施設となりますので、英語教育につきましては現在行っておりません。

小さい頃から英語、スポーツ、音楽など楽しく学び、触れ合うことは、今後の成長過程で貴重な経験であり、幼児期に楽しく触れ合うことによって、聞き取りや発音、吸収など適応性が高いなど、今後の教育課程において、個々の魅力ある成長と可能性を秘めております。

今後、教育機関との連携や幼児教育の動向を踏まえた検討が必要であると考えております。課題であります低年齢保育、早朝・延長保育など早くから働きに出たい家庭など、多様な保育ニーズにあつたサービスの充実や、また幼児教育に努めていきたいと考えております。

議員

幼稚園の5歳児と、保育所の5歳児が同じ小学校に入った時に、差が出なければよろしいんですが、そこらへんをちょっと私は心配しております。

業化された全区間の進捗状況についてお伺いします。

産業基盤整備担当理事

11月29日現在の用地契約状況は、248筆中、242筆、97・5%で、代替地の状況は47区画中、16区画の申込みがあり、全て契約を行っている状況です。

工事の進捗は、成川地区鶴子橋付近のインターチェンジ橋の橋台1基が施工中です。また、熊野川河口大橋P4からP6橋脚3基を施工中です。

熊野尾鷲道路Ⅱ期5・4kmは、開通見通しは令和3年夏頃と発表されたところで、熊野道路6・7kmは、11月24日に熊野市において起工式が開催されました。紀宝熊野道路15・6kmは現在、各種調査設計を進めており、11月には御浜町、熊野市で用地の進め方の説明会が開催されました。新宮道路4・8kmは、現在調査設計を行っており、7月に新宮市において、現地調査を実施するための事業説明会を開催したと伺っています。

議員

高速道路全て繋がって効果が発揮されるということでは、

家庭で育児ができない家庭に代わり、子供を預かることを目的とした児童福祉法に基づき、厚生労働省が管轄する施設となりますので、英語教育につきましては現在行っておりません。

小さい頃から英語、スポーツ、音楽など楽しく学び、触れ合うことは、今後の成長過程で貴重な経験であり、幼児期に楽しく触れ合うことによって、聞き取りや発音、吸収など適応性が高いなど、今後の教育課程において、個々の魅力ある成長と可能性を秘めております。

今後、教育機関との連携や幼児教育の動向を踏まえた検討が必要であると考えております。課題であります低年齢保育、早朝・延長保育など早くから働きに出たい家庭など、多様な保育ニーズにあつたサービスの充実や、また幼児教育に努めていきたいと考えております。

議員

幼稚園の5歳児と、保育所の5歳児が同じ小学校に入った時に、差が出なければよろしいんですが、そこらへんをちょっと私は心配しております。

命の道として1日も早い完成に向けて、我々もしっかりと努力していきたい。次に、鶴殿西遺跡の発掘調査の状況について、お伺いします。

教育課長

鎌倉時代から室町時代の大溝と大型の掘立柱建物が確認されており、調査結果を広く知っていただくため、11月30日に説明会が行われ、鶴殿西遺跡から出土した陶器や長崎県産の石鍋などが展示されました。

学校でのICT環境整備

議員

一般社会のデジタル化が大きく進む中、学校現場が現在取り残されている現状があります。学校現場のICT環境を充実させる必要がございます。

学校でのICT環境整備の現状で、現在、学校でのICT環境整備状況は、全国平均では児童生徒5・4人に対しパソコン1台であり、本来は1人に対し1台とされており、現在、紀宝町の小中

ります。

次に、幼稚園につきまして、紀宝町では4歳児、5歳児を対象としています。文部科学省では、幼稚園の対象者を満3歳児から小学校就学の始期に達するまでの幼児と規定されています。紀宝町では、3歳児の受け入れにいついどどのように考えていますか。

教育課長

幼稚園では、文部科学省が策定している幼稚園教育要領に基づき、教育活動を実施しております。うどの幼稚園につきましましては、設立当初の昭和51年では5歳児の1学年からはじまり、平成11年度から4歳児を新設し、2学年での運営を開始して、現在に至っております。

また、入園状況としては、令和元年度で4歳児が4名、5歳児が28名の計32名という状況から、令和2年度に預かり保育の時間を延長していくなどの取組を実施し、幼稚園教育の充実を図ってまいります。

議員

今後、議員ご指摘の3歳児保育を含め、幼稚園のあり方につきまして、施設面や必要な教諭の確保、カリキュラ

ム作成等、さまざまな課題を町教育委員会会議等で検討を進めていく必要があると考えております。

無償化等の周知

議員

幼児教育の無償化が10月より行われていますが、3歳児から5歳児が対象で、2歳児以下が対象でないなどの複雑な制度となっています。無償化の周知については、どのように行っていますか。

健康福祉担当理事

対象となる保護者の方には、保育料の無償化についての案内チラシを配布させていただき、10月以降の無償化後の保育料や副食費等の内容について、周知をさせて頂いております。

議員

また、10月の広報きほうにおきまして、保育料、入所基準、長時間保育、土曜保育、0歳児保育等について周知をさせて頂いております。

議員

広報で見てもちよつとわかりにくい面がございます。この

どのネットワークというのは、災害の避難所として防災機能を発揮するということもございます。整備されている3校については、どのように整備されますか。

教育課長

国の補助金等の状況も踏まえて、整備の検討を進めていきたいと考えております。

議員

2020年度からスタートする教科書の中に、QRコードの活用が入ってきます。QRコードというのはバーコードで、ICT活用が前提となつてタブレットで読み込んで授業を行っていくことですが、タブレットがなければ、授業で活用できないという事態が起こってきます。

議員

現在の状況はどのようなになっていますか。

教育長

来年度から使用される小学校の新教科書には、いくつかの単元においてQRコードが記載されています。例えば国語では、QRコードから詩の音声朗読が始まったりします。理科ではQRコードのリンク先から各種実験の様子や動画等も見ることが可能です。今

へんをもう少しわかりやすくしていただければと思います。

最後に、令和2年度から始まる幼稚園預かり保育の延長につきまして、共稼ぎ子育て世帯には、大変ありがたいシステムとなりました。町長はじめ、関係各位の皆様、本当にありがとうございました。



榎本 健治 議員

・近畿自動車道紀勢線について
・学校でのICT環境整備について

他

近畿自動車道紀勢線

議員

新宮紀宝道路をはじめ、事

後、ICT環境設備をさらに充実させることにより、教育効果が上がるよう努めていきたいと考えております。

障がい者のグループホーム

議員

障がいのある人の自立を支援するため、共同生活援助グループホーム等の整備に向けた支援を行うとともに、今後のグループホームの建設に向けて、見直しをお伺いします。

健康福祉担当理事

障がい者支援ホーム等の業者や、社会福祉法人等につきまして、整備に向けたお話し合いはさせていただいています。

議員

まず1箇所、グループホームを整備いただいて、後にサテライトであったり、地域に増やす必要があると思います。

障がいの者の親の高齢化や、親がいなくなつて親戚の方が身寄り、そこに寄り添つて暮らしてられる方も現在

出てきております。そういった事態を一刻も早く解消していただきたい。

町長

議員の、この障がい者グループホームに対する思いというのを聞かさせていただきました。基本的には、早期に整備をしていく必要があるというふうには認識をしています。

議員ご指摘いただきましたことも踏まえながら、これからのグループホームのあり方について、どのような形で運営していただけるか、そしてまた議員ご指摘いただいたグループホームの建設のあり方等を踏まえて、調査研究をして、出来るだけ早く建設とか設置ができるような方法があれば、今後早急に計画をしてまいりたいと思っております。

議員

1日も早い整備というのには必要不可欠です。作業所としてB型アプローチさんの事業所である、社会福祉協議会と一体となったグループホームを整備していく必要があるというふうに認識をしております。



場所として今後どのように環境改善ができるのか協議して、環境改善に努めていきたいと考えています。

議員

成川深谷地域は高齢化が進み、突発的な豪雨に際しては内水浸水の危険性があり、高齢者の場合、徒歩での避難が困難なところです。こうした非常時には職員が避難誘導するなど、緊急避難誘導システムをつくるべきではないか。

総務担当理事

どこで突発的な豪雨が起これというのが予想しづらい面もございます。やはり自助、共助、これが基本だと考えております。今後、警報発令と



原 章三 議員

・東紀州広域ごみ処理について
・幼児教育・保育の無償化について
他

東紀州広域ごみ処理について

議員

ごみ処理用地について、中部電力から、定期点検用地に加え、新たに燃料基地用地の第二ヤードが各市町に示されました。この新用地について、各市町議会からは、疑問の声や、安全安心な津波被害のない場所への建設を検討すべきといった意見が出されています。

また、当初算定されていた整備費用73億円に加え、さら

に盛土費用として15億4千万円が必要であるとの報告がありました。南海トラフ大地震に備えて、県のハザードマップでも津波想定とされている場所に莫大な費用をかけ建設することは、再検討すべきではないか。

町長

新たな提案については、5市町で構成しております準備会で協議を重ね、建設候補予定地として追加し検討することとなりました。盛土費用15億円かかることですが、今後検討していなかで、極力、低減に向けた土地等に設置していく方法で検討を進めていきます。

調整監

5市町で署名した締結内容では、中部電力さんの跡地となっておりまして、現在は中部電力さんの跡地で可能性を模索していくことにできると考えます。

議員

今日問題となっている温室効果ガスの排出問題については、今回のごみ処理場建設と大きな関わりがあります。国では交付金の要件として

大型焼却炉や広域化の促進、

は関係なく早めの避難をしていただく方法について検討していきたい。

会計年度任用職員制度について

議員

4月から実施されるこの制度について、紀宝町では該当職員は嘱託職員36名、パートタイムが154名、計190名となっております。条例案では、期末手当は正職員4.5か月分、嘱託職員は3.4か月分と大きな差があります。さらに、勤勉手当は特別職には支給されるのに支給されないなど問題がある制度だ。総務省は、正職員と責任が同じであれば同じ格付けが適当といっている。賃金格差をなくすべきではないか。

また正職員と同じ給料表を使用するのであれば、ベースアップに伴う差額支給についても同様にすべきではないか。

総務担当理事

パートタイム会計年度任用職員については、期末手当支給などの改正も行っていま

す。フルタイム、パートタイム職員の給料についても、できるだけ現行の給与水準を維持しながら移行させていきます。差額支給については各市町の状況を見ながら検討していきます。

インフルエンザ対策について

議員

私は、子どものインフルエンザ予防接種費用の無償化、または助成制度について毎年要望しておりますが、当局は任意接種であるから、また、型が合わないなどの理由で今日まで保護者負担となっております。

保護者の方が安心して子育てができる環境づくりをする、これが行政の果たす役割と考えます。ぜひ実施していただきたい。

町長

任意接種ですので、どのくらいの方が予防接種をされているかというのは町で把握は出来ておりませんが、インフルエンザの発生状況等を踏まえる中で、今後慎重に検討してまいりたいと思います。

さらに広域ごみ発電施設の導入が求められています。ダイオキシンを発生させないために、24時間、800度以上で燃やし続けなければなりません。このことは、CO2の削減、子ども達の将来を壊さないでほしいというグレタ・トゥーンベリさんの訴えに逆行するものではないか。

調整監

国の推奨方式では、高熱処理を施してCO2の排出も削減できる、また廃棄物の再資源化を図り最終的に燃やすしかないものを燃やすといった方式を進めております。

幼児教育・保育の無償化について

議員

10月から実施された無償化ですが、副食費については幼稚園では1食240円、保育所では1か月4300円の有償となっております。年収360万円未満の世帯は無償化となっております。うどの幼稚園では園児32名中16名が免除、保育所では215人中55名が副食費を免除されています。年収360万円未満相当と



浅田 和江 議員

・風しんの抗体検査・予防接種について
・空き家バンク制度のさらなる活用について

風しんの抗体検査・予防接種について

議員

抗体検査や予防接種があまり進んでいないということですが、現状はどのようになっていますか。

みらい健康課長

対象者の男性490人に対し、無料クーポン受診券を送付しました。受診の現状、実績ですが、本年10月までで抗体検査受診人数は55人、うち陽性が39人、陰性が16人となっております。

の範囲はどうなっているのか。子どもの貧困問題や一人親家庭の問題など貧困化が進むなかで、すべての子どもの副食費を無償化すべきではないか。また児童手当から差し引くなどは論外だ。

健康福祉担当理事

所得範囲については、所得基準で5万7千円以上の所得税が課税されている世帯が対象です。国の基準で行っております。

防災対策について

議員

井内地区の避難所にもなっているリサイクルセンターについては、地元住民から環境改善を図ってほしいとの要望がこれまでも出されてきたが、今日まで放置されている状態です。一時避難場所といっても暖房施設もないのが実態であり、喫緊の課題として整備してもらいたい。

総務担当理事

リサイクルセンターは、本来リサイクル施設として機能してございますが、一時避難

防接種をした方が12人です。クーポン券発送はしていませんが、3か年の対象者でも申し出があればクーポン券を随時発行し、受けていただいています。

議員

来年度送られる方に対して、希望があれば先に発券しますというような情報は周知されているのでしょうか。

みらい健康課長

11月末の国の会議で、3つの方針を決めました。1つ目が、来年度2年目のクーポン券送付対象者を、今年度クーポン送付対象者以外全ての世代に配付する。2つ目が今年度クーポン券を送付済みの方のうち、未使用者へは再勧奨するとともに、今年度末で使用期限を迎えるクーポン券を翌年度以降も使用できるよう期限を延長する。3つ目が来年度分のクーポン券発送は、できる限り今年度内に実施する。

本町としましても、引き続き個別通知をはじめ、広報きほうやホームページ等で周知を図っていきたくと考えています。

議員

今後の抗体検査・予防接種

の実績を上げていくためには、町としてはどのような取り組みをしていくのでしょうか。

みらい健康課長

クーポン券発送時に、個別通知や広報きほう、ホームページ等で今年度と同様に周知を行っています。

また、本年度クーポン券を発送して、抗体検査を受診していない方にも個別通知、または情報周知等を検討し、受診勧奨に努めます。

議員

企業が職場で、検査とか予防接種を受けられるよう環境を整えているところもあるようですが、紀宝町内の企業や事業所への働きかけはどのようになっていますか。

みらい健康課長

今後、企業への周知、また企業の健康診断等につきましては、クーポン券を出せば、受けられる状態と聞いていますので、そのへんも周知していきたいと考えています。

議員

2020年7月までに、対象者の抗体保有率が85%以上に、2021年度末までには、対象者の抗体保有率が90

%以上にすることを目標としているといわれています。

ワクチンを打ちたくても打てない時期、体調の方がいい方もいらっしゃると思います。

集団としての免疫を高めて流行を抑制できるように引き続き、出来るだけ100%に近いくらい検査、ワクチン接種が進むようお願いしたいと思います。

空き家バンクのさらなる活用

議員

紀宝町の空き家バンク制度が運用され、これまでの物件の登録数や契約数など実績はどうなっていますか。

企画調整課長

空き家バンク制度事業に取り組んで5か年目ですが、これまでの実績は、空き家物件の登録件数は、累計34件の登録です。成約件数は、売買8件、賃貸借8件の計16件です。

議員

空き家バンク制度を活性化していくには、物件の登録数

を増やしていくことが重要だと考えますが、どのような取り組みをしていますか。

企画調整課長

今後の取り組みとしては、平成25年度に実施した、空き家物件調査を再度実施していきたいと考えています。この調査は、紀宝町外に在住し、紀宝町内に家屋の固定資産を所有する方を対象に調査票を送付し、町内に空き家をお持ちか尋ね、空き家をお持ちの方は、空き家バンク制度の登録についてご協力を仰ぎ、ご理解いただける方には、詳細の情報等の聞き取りを行いながら、登録に向けての作業を進めていくものです。

町内在住で空き家をお持ちの方も多いため、空き家バンク制度の利用促進を図られるよう、その固定資産税の納付書を送付時に、チラシの同封も検討していきたいと考えています。

議員

空き家対策についての資料を見ると、まずは空き家かどうか確認をすることが必要と書いています。空き家の確認はどのようにしていますか。

企画調整課長

どの地区に何軒あるかということは、今現在把握しておりません。しかしながら区長会で、空き家物件等があった場合にはお知らせくださいというような依頼をしています。

議員

例えば、役場であれば水道の管理をしているということと、水道を止めてと申し出があった時に、空き家になる可能性があると考えます。そのような機会をとらえて、空き家になるのか確認ができる場合があるのではと考えますが、いかがですか。

企画調整課長

そのへんは水道を管轄しています環境衛生課のほうに、確認をしていきたいと思っています。

議員

空き家等対策計画を策定している自治体もあるようですが、紀宝町は策定していますか。

企画調整課長

まだ策定しておりません。国土交通省の補助事業等を活用する場合には必須で、計画を作らないと事業の補助等が



奥峪 康之 議員

- ・耕作放棄地を拡大させないための取り組みについて
- ・外来種の駆除について

耕作放棄地

議員

耕作放棄地を拡大させないための取り組みについてですが、町内でも農地、畑、田んぼの耕作放棄地が増えてきていますが、田んぼの耕作規模はどのように変化しているか。

産業振興課長

農業委員会では、毎年耕作放棄地の農地パトロール調査を行っており、水田のほうの耕作放棄地面積につきまして

ただけない制度です。企画調整課から他の課にまたがってくるものですので、今後検討していきたいと考えております。

議員

これから人口減少も大きくなって、それに合わせて空き家もますます増えていくことと思います。

住居として、他の施設として活用できそうな空き家というのは、良い状態のうちに再び活用されるように、また危険になってしまった空き家は、早く危険が取り除かれるように取り組んでいただきたいと思っています。



となっており、その対策を地域全体で防除していくことが必要であります。当町としても関係機関と連携し、有効な手法等の情報を共有し被害軽減に努めてまいりたいと考えております。

議員

薬剤の購入費助成制度についてですが、このジャンボタニシというのは、かなりの繁殖力で、そして移動する。貝自体が移動もしますし、農機具の泥に紛れて、次の田んぼへ移動して増えているのかなと思っています。

耕作方法で、抑えていける範囲は抑えていくことも大事ですが、やはり薬剤の投入というのにも必要かなと思います。一概には言えませんが、ある程度の規模で広範囲にやらないことには効果が出てくれないかなと思っています。そこで、助成制度を考えてみてはどうかと思えますが、当局の考えは。

産業振興課長

ジャンボタニシの農薬補助の助成制度につきましては、三重県農業共済組合が、共済加入者又は収入保険加入者に対し、ジャンボタニシの防除

を行った場合に係る薬剤購入経費の一部助成の実施をしていると伺っております。

今後も農業共済、収入保険への加入を推進してまいりたいと考えております。

議員

三重県内でも、助成をしている自治体があると新聞で見ましたが、紀宝町としてはどうか。

産業振興課長

ジャンボタニシの被害防除につきましては、冬場の耕うん等、駆除方法、農薬等の検証というのも、今後、状況を見て考えていく必要があると思います。

現在のところ、農業共済のほうで助成制度というのがありますので、こちらの活用をお願いしていきたいと考えております。

議員

現在のところは考えていないということですが、ほとんどの自治体が今はそういう状態かなと思うわけです。これからの被害状況によっては、また考える時が来るのではないかなと思いますので、状況を見て判断していただきたい。

健康福祉担当理事

隣の御浜町については18時30分と聞いております。

議員

新宮市も18時30分らしいです。御浜町も18時30分ですから、子育て支援ということ、で、保護者が安心して保育所に預けて、安心して通勤できるような支援策を要望したいと思います。

相野口永田線の急カーブについて

議員

町道相野口永田線の鮎田地区の急カーブについて伺います。この急カーブは幅員が狭いし、見通しも大変悪いということ、私の感じでは相野口永田線では一番危険な箇所だと思えます。今後、このカーブの改修計画は。

産業基盤整備担当理事

一級町道相野口永田線は、通勤や通学など当町の主要幹線道路であるとともに新宮市や御浜町、熊野市へのアクセス道路として利用されておりまして、他路線と比べると交通量も多い路線であります。



瀬越 幸雄 議員

- ・地球温暖化対策について
- ・子育て支援について
- ・町道相野口永田線について

ごみの減量化

議員

ごみの減量化について、現在の紀宝町の取り組みはどうなっているのか。

環境衛生課長

ごみの減量化につきましては、毎月の広報において、ごみの分別コーナーを設け、分別の徹底や、生ごみの水切り徹底などの啓発や各地区へ出向き、分別説明会の開催を実施しております。また、紀宝町リサイクルセ

ンターにおいて、徹底した分別及び選別作業を実施し、同時に粗大ごみの直接持ち込み制度、平成21年4月からは資源ごみの直接持ち込み制度も導入し、町民皆様の利便性の向上を図っております。また、粗大ごみから発生する木質系資源の選別を行い、リサイクルにも努め、平成27年7月からは、刈り草及び剪定枝の分別収集を開始し、燃料ごみの排出量の抑制にも努めております。今後、リサイクルセンターの活用や、町民の皆様に対して啓発を行いながら、引き続きごみの減量化に取り組んでまいります。

広域ごみ処理施設

議員

広域ごみ処理施設の建設について、私は、ごみの地産地消を原則にして提案したいと考えております。そこで現在稼働中のRDFを今よりも品質を向上して、リサイクル商品として販売することによって、発電所とか、そういうと

ころにも売却できるんじゃないかと思えます。具体例として、紙、木くず、布、プラスチックをRDF化して、商品化としてやっている地域もあります。今後、RDFの稼働を停止して、何とかするような議論はなかったのか、また、RDFの商品化についてはどうか。

調整監

現施設である、南牟婁清掃施設組合の清掃センターの今後の利活用につきましては、当然組合のほうで議論をしてきたところであります。施設の延命化については莫大な修繕費など様々な費用を試算し、同時に広域の検討も合わせて試算する中で、より費用対効果として効率的な広域による実施という結論に至っております。

町長

RDFの部分については、県の考え方、条例等から一般廃棄物とされておりまして、なかなかその状況というのは難しいわけでございます。今後それを続けていくうえにおいても、買い取ってもらう処理料を支払わなくてはならないという状況でもあり

議員

うどの幼稚園では、このたび子育て支援を目的に、預かり保育を実施しています。大変喜ばしいことだと思います。夏休みや冬休みは、午前8時10分から午後2時10分までとなっておりますが、この時間帯を午後4時10分まで延長していただきたいと思えます。可能ならば、最長午後6時までということをお願いしたいと思えます。

また、預かり保育の対象者の条件緩和もお願いしたいと思っております。例えば、下の子の世話をしている人やボランティア活動を行っている人たちにも柔軟な対応をお願いしたい。

教育課長

国が指導している預かり保育の実施にあたっての留意事項にある、幼児の心身の負担への配慮という項目では、長時間同じ園で過ごすため、幼児の情緒の安定を図るとともに、一人ひとりの健康と安全に配慮することが第一であるとされておりまして、令和2年度から延長する預かり保育を実施さ

ますので、三重県のRDFが終了すれば、これからのRDFの処理においても、非常に高価なものになってくるというような状況もございまして。そういった中で、広域的に5市町で議論をし、進めていかなければならぬというふうに思っております。

延長保育

議員

延長保育の実施時間は、午後6時までとなっております。伺っておりますが、保護者の中からはあと30分延長してほしいという要望がありました。現在の午後6時を、あと30分延長できないか。

健康福祉担当理事

午後6時以降の延長保育につきましては、保育無償化後の動向を注視し、保育ニーズ調査やご意見をいただきながら、子育てができる環境の充実に向けて検討してまいりたいと考えております。

議員

周辺市町村ではどのような状況か。

させていただきます。運営していただく中で、町教育委員会会議等において、検討していきたいと考えております。

議員ご指摘の件につきま

しては、保護者にわかりにくい部分がありましたので、今後は、具体的な保育を必要とする事由を取り入れた規則改正を協議してまいります。と思います。

議員

フルタイムの共働き家庭、自営業の一人親家庭、フルタイムの一人親家庭、このような場合、幼児教育を受けさせたくても、保育園か幼稚園かの選択ができない状況となります。今後どういうふうな計画でいくのか。

教育課長

まず幼稚園につきましては、文部科学省が管轄する教育というところがあり、教諭が指導している保育終了後は、子ども達へのカリキュラム等も作成していく必要があります。また、夏休みなど長期休業につきましても、教育を高めるために研修等を行っているなどの状況もござい

うどの幼稚園預かり保育



野田 純志 議員

- ・うどの幼稚園における預かり保育について
- ・矢洲中学校における部活動について

来年度、まず2時間ずつ延長させていただきまして、状況等をいろいろ勘案しながら、今後のあり方についても検討していきたいと思っております。ファミリー・サポート・センター事業の接続というのをごいいますので、そういった事業もご活用いただきながら、進めていけたらと考えております。

議員
ありがとうございます。家事・育児も就労と同等とみなしていくべきではと思います。

矢渕中学校の部活動について

議員
今やスポーツ界ではメジャーとなった空手道をぜひ、部活動の一つに加えていただきたいと思っております。

教育課長
中学校の部活動におきましては、中学校学習指導要領における位置づけ等に、学校とご要望のある生徒さんや保護者さんにおきまして、現在の競技種目の状況などを相互共有し、今

後の方向性につきまして、話し合いを進めていくのが望ましいと考えております。

議員
令和2年入学予定者に有段者、黒帯が3名、また在校生にも、その実力以上の生徒が数名在籍していると聞いています。

自分の得意とするスポーツを通じて、ぜひ子ども達の健全育成と成長を期待するものであります。この3名は全員、女性でありまして、6年間培ったものを、ぜひ続けさせてあげたいという思いでおります。

教育長

三重県の中学校体育連盟には、柔・剣道の組織がありますが、空手道はございません。この支部に、南郡熊野市の中体連という組織もございませぬ、空手という種目がないわけなんです、そうすると学校にクラブをつくるというのは、難しくなっております。地域の方の指導のもとで、ぜひ力を存分に伸ばしてやっていただきたいと思っております。ご要望はあるということ、もちろん学校のほうへ伝えま

委員会」3つの機関の設置を条例によって定めて、いつでも機能する状態にしております。

合わせて、町内の各小中学校におきまして、町の基本方針に沿う形で各学校のいじめ防止基本方針を策定し、それに沿った対応を進めているところでございます。

また、各小中学校では、定期的な生活全般にわたるアンケートも実施し、些細な兆候も見逃さず、いじめの早期発見・早期対応に努めております。

具体的な、いじめの報告件数ですけれども、平成28年度では小学校が32件、中学校が5件で、計37件。平成29年度では小学校が27件、中学校が3件で、計30件。平成30年度では小学校が33件、中学校が1件で、計34件。令和元年度では小学校が37件、中学校が2件の報告がありました。

内容としましては、冷やかされた、からかわれた、悪口を言われたが21件。軽くぶつかられたり、遊ぶふりしてたかれたり、蹴られたりするというのが7件となっております。こちらのいじめ事案に

先ほど課長が申し上げましたとおり、保護者と子どもたちと話し合ったうえで、校長の判断で、これを決めるということになります、ご理解をお願いいたします。



平野 美津子 議員

いじめに対する対応について

いじめの対応

議員

三重県でもかなりの、いじめの件数があったという新聞報道等見まして、この紀宝町内では、いじめは起こって

て、平素の取り組みに加えて、いじめ撲滅に向けた話し合いを行っており、本町の友達とは、他人の気持ちを考えて、いじめ防止標語を作成する取り組みを行っており、それから生徒全員に対する生活アンケート、これはいじめだけではなくてですね、学習面とか、個人の困りごと、また家庭生活も含めた生活アンケートっていうのを実施しております、この中でいじめが見えてくることでもあります。また学校によっては直接聞き取りをしたところもあり、スクールカウンセラーと1人ずつ話しをしたという学校もあります。

議員

地域との連携は。

教育長

地域との連携でございますが、学校、教育委員会、教育委員、児童相談所、法務局、警察等の方々と普段からお互い連携を図って、いじめ問題の対策に努めております。

また、相野谷中学校では文化祭における劇、それから矢渕中学校では人権作文の発表

ないですか。

教育長

まず、いじめの定義でございますが、平成25年9月にいじめ防止対策推進法が施行され、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍しているなど当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為、インターネットを通じて行われるものを含むというふうになっております。文科省は、この定義によりまして、児童が些細なことでも心身に苦痛を覚えたことは、いじめとして積極的に認知して、対応をするよう指導がされておるところでございます。

また同時に文科省では、いじめは、社会性を身に付ける途上にある児童生徒が集団で活動する場合、しばしば発生するものであり、例えば、言い過ぎてしまい相手を傷付ける、自分勝手な行動をとって周囲の反感を買う、子どもたちは成長の過程で様々な失敗を経験しますが、その中には、いじめに該当するものもしばしば含まれるため、どの学校においても、一定数のい

と劇や、また授業でも、公開授業を行っております。

議員

今おっしゃっていただいたように、相野谷中学の演劇を見ましたが、かなり深いところまで表現されている劇だなと思って見させていただきました。本当に地域の方達がいっぱい来てくれており、そういう意味ではすごく、本当に訴える劇だったので、私は今後も見せてもらうようにして



じめが認知されるのが自然であるという、いじめの認知に対する考え方を示しております。些細なことでも、いじめと認知して、早期に見解し決すると。そういったことにより、子どもが対人関係においても正しい関係の作り方を習得し成長していくものであると思っております。

紀宝町としましては、紀宝町子どものいじめ防止条例の策定、それから町のいじめ防止基本方針、行動計画の策定、これは28年の3月、本年4月に一部改定を行ったところでございますけれども、外部人材を含む、「いじめ防止対策連絡協議会」「いじめ防止対策の審議会」「いじめ調査

いきたいと思っております。最後に、いじめについては、なかなか言えない子どもがいたりと思うんですね。そういうところは、教師や地域の人たちがそれをくみ取っていくことが大事なんじゃないかなと思います。

※この他に「矢渕中学校の防災について」「学力向上について」の質問がございました。

三重県町村議会議長会 副会長に就任



三重県内全15町の議会議長で組織する、三重県町村議会議長会の理事会が本年1月9日に津市で開催されました。

理事会において、副会長欠員に伴う役員選挙が行われ、新副会長に莊司健(しょうじたけし)紀宝町議会議長が選任されました。

今後、副会長として会長を補佐し、三重県内全町議会の振興発展に努めていきます。

なお、任期は、令和2年1月9日から令和2年6月12日までとなります。

次回定例会の予定

2月28日（金）開会予定です。
傍聴は議会事務局で受け付けています。

議会生中継について

公共施設4ヶ所のロビー等において、町議会本会議の様を生中継していますので、議会日程をご確認のうえ、ぜひご覧ください。

- ① 役場本庁舎
 - ② 生涯学習センターまなびの郷
 - ③ 福祉センター（鶴殿）
 - ④ 相野谷診療所
- ※放映時間については、当該施設開館時間内となりますので、ご了承ください。

インターネット録画中継について

町議会では開かれた議会を目指して、平成23年6月定例会分からインターネットによる録画中継を実施しております。映像をご覧いただくには、

◎紀宝町ホームページ ↓ 「町議会情報」 ↓
「インターネット議会中継」をクリック

可決された議案（12月）

- 紀宝町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について
- 紀宝町会計年度任用技能労務職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定について
- 会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定について
- 紀宝町立図書館振興基金条例の制定について
- 紀宝町議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について
- 紀宝町長及び副町長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について
- 紀宝町職員の給与に関する条例の一部改正について
- 紀宝町技能労務職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について
- 紀宝町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について
- 紀宝町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について
- 紀宝町町民運動場条例の一部改正について
- 紀宝町町民体育館条例の一部改正について
- 令和元年度 紀宝町一般会計補正予算（第3号）
- 令和元年度 紀宝町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 令和元年度 紀宝町診療所事業特別会計補正予算（第3号）
- 令和元年度 紀宝町町営浄化槽整備推進事業特別会計補正予算（第1号）
- 令和元年度 紀宝町水道事業特別会計補正予算（第3号）

意見書（12月）

- 国土強靱化対策の強化を求める意見書

編集後記

紀宝町役場西方に位置し、鶴殿の歴史を知る事が出来るであろうと思われる鶴殿西遺跡の発掘調査が11月にありました。13世紀から15世紀と考えられる掘立柱建物や区画溝などが確認されました。熊野川河口は、上流の林産資源の集散地であり、熊野三山神領荘園の年貢輸送等の必要から造船、航海の技術が発達し、経済流通の拠点としても深く関わっていたようです。また、13世紀から14世紀（鎌倉時代から室町時代）にかけて文献にも登場する熊野三山と関係の深い鶴殿氏の墓が鶴殿西遺跡から西側にある貴弥谷社にあります。昨年は亥年で、野生のイノシシが大暴れし、また、あちこちで豚コレラの被害が発生し、いつ終息するか心配でなりません。今年には子年ですので、きっとイノシシもなりを潜める事でしょう。（文責 市川）

「議会だより」（51号）

編集委員 市川 潔

萩野 進也

浅田 和江